

身近な文化財

第三話

天王祭
(キュウリ天王)

暮らしに身近な文化財の一つに、各地域で伝承されてきたお祭りや行事があります。

市内各地では、6月から7月にかけて「天王祭」や「キュウリ天王」などと呼ばれる祭りが行われています。6月は疫病が流行する時季であることから、疫病をつかさどる牛頭天王をまつり、無病息災を祈るものなのです。

市内で行われている天王祭には、おもに「①太鼓を叩き、参加者がキュウリを奉納するもの」と「②神輿の巡業をするもの」の2種類があります。

①では多くの場合、2本のキュウリを奉納し、すでに供えられているものから1本を取って持ち帰ります。このキュウリを食べると病気になるいともいわれています。①の種類の祭りは、旗宿・板橋・舟田・本沼・表郷河東田・大信下新城・東上野出島などに伝わっていますが、

現在は太鼓を叩いていない所もあります。

ちなみに、キュウリを供える理由は諸説ありますが、牛頭天王をまつる八坂神社の神紋がキュウリを切った断面に似ているからといわれています。

②は、必ずしも「天王祭」とは呼ばれていませんが、牛頭天王をまつる八雲神社の祭りで、キュウリをお供えする地区もあります。

子どもたちが神輿を担いで地区内の家を回り、おほらいをします。これは、白坂地区の大倉矢見や泉岡、皮籠などで行われています。

このほかにも、牛頭天王に関する行事は、大信町屋・上新城、東形見などに伝わっており、地域の大切な文化財の一つといえます。

文化財課 ☎2310



▲河東田牛頭天王祭 (表郷地域)



▲お供え物のキュウリ (表郷河東田)



▲白坂八雲神社祭礼 (子ども神輿)

～自河の景観を守り・つくり・育てる～

景観まちづくり通信 Vol.3

今月号は、身近なおすすめ景観を紹介します。

本庁舎都市計画課 内2232

私たちの身近にも素敵な景観があふれています。

子どもの頃、毎日歩いた通学路は、大人になった今、どんな景色に見えるでしょうか。懐かしさを感じるとともに、あの頃は目に留まらなかった木々や草花に心が癒されることでしょう。

毎朝、車で通る場所を、休日にゆっくり歩いてみませんか。車窓からとは違った景色が見えるかもしれません。

自宅の近所でも実は通ったことがない道はありませんか。探検気分を味わいながら、まちの魅力を再発見してみるのもいいですね。

ぜひ身近な景観を楽しみながら、まち歩きをしてみたいかがでしょうか。

おすすめ景観募集中!

日常生活で見つけた白河のおすすめ景観をInstagramで教えてください。
※詳しくは市ホームページへ



Instagramにお寄せいただいたおすすめ景観をご紹介します!



▲隈戸川の大信不動滝



▲旗宿地区の社川沿い